



小菅六雄さんの活動を引き継ぎ  
切実な願いを市議会に届けます

# 東郷正明

昭和27年生まれ。京都洛南高校卒業。昭和46年、新日本電気入社、平成24年退職。この間、労働組合職場委員として労働者の権利と生活を守る運動に奮闘。現在、党市くらし対策委員長。比江在住。

【活動地域】 中主学区、篠原学区

やす民報

発行：日本共産党野洲市委員会

2013年8月29日 No.259

私は、半導体大手のルネサスに42年間勤めていました。ルネサスは内部留保が約2000億円もありながら、「不況だから」と言って、大リストラで大量の人々の“首切り”を相次いで強行してきました。こんなことは本当に許しません。野洲市でも、村田製作所など大企業が県や市から雇用を条件にした補助金をもらいながら“派遣切り”をしています。

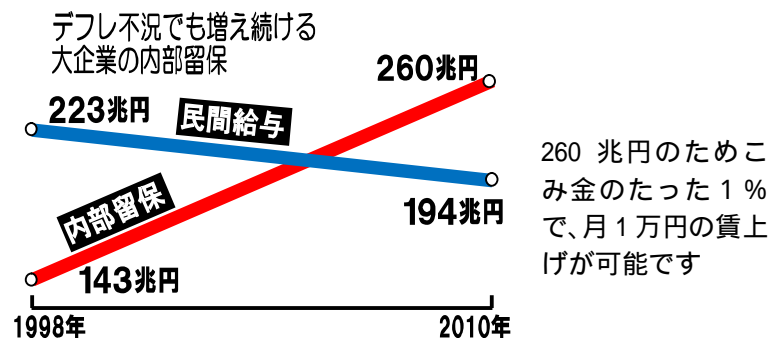
こんなことで、市民の暮らしも経済もよくなるわけありません。私は、今回、引退される小菅さんの活動を引き継ぎ、市民のみなさんの切実な声を、市議会にしっかり届けます。 東郷正明

正体はつきりアベノミクス  
消費税増税ストップで景気回復を

大企業は社会的責任を果たすべき  
内部留保1%取り崩せば、1万円の賃上げ可能

“解雇自由化”や残業代ゼロなど、「大企業さえもうかれば後は野となれ山となれ」の“成長戦略”。年金・医療・介護など社会保障を聖域なく削減するのが、アベノミクスです。

賃上げと安定した雇用をふやすことこそ、景気を立て直す大道です。国民から所得を奪う政策をやめ、所得を増やし雇用の安心を実現するために、市議会でも全力でがんばります。



雇用シンポでパネラー

メーデーで党を代表して挨拶

湖南幹線の現地調査

市へ国保税引き下げを要望

道路安全対策を要望

日本共産党が見解を公表しましたので見解をお知らせします